



主 題 名

偏見や差別をなくそう

教 材 名

「ないた赤おに」

(出典: 浜田廣介 作・いもとようこ 絵「ないた赤おに」金の星社より)

人権学習の視点

普遍的な視点「差別の構造」

主題・教材について

外見だけで判断して偏見を持ったり、仲間はすれにしたりすることは、学校生活の中でも日常的に起こりやすい。「ないた赤おに」では、おにに対する人間の偏見や恐怖心から、人間と仲良くなりたいと願う赤おにを人間たちが受け入れようとはしない。赤おには人間と仲良くなりたい、一緒に住みたいと思いつた立ふだを立てるが、人間は赤おにを怖がり近寄ろうとしない。赤おには青おにの協力で人間と仲良くなることはできたが、人間の持つ偏見や差別が友達の青おにを傷付ける原因となる。「ないた赤おに」のお話を通して、外見による偏見や差別が不合理であることを感じ取らせたい。

ね ら い

思いこみや決めつけ(偏見)が相手を傷付け、差別につながることに気付き、相手のことを本当に理解しようとする態度を身に付けさせる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○「おに」のイメージを発表させ、交流させる。	一斉	○自分の考えを発表する。	○児童の率直なイメージを出し合わせるようにする。	
展	○「ないた赤おに」の絵本を読み聞かせる。	一斉	○「ないた赤おに」の話を書く。	○「赤おに」がどんなおにかを考えながら聞かせる。	資料 「ないた赤おに」
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     立てふだを見たくころはどう思っていたのだろう                 </div>				
開	○おにに対するきこりの気持ちを読み取らせ、発表させる。	個別 一斉	○自分の考えをワークシートに書いて、発表する。	○きこりの赤おにへの偏見とその気持ちを読み取らせるようにする。	ワークシート
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     赤おにの家に行った村人はどんな気持ちだったのだろうか                 </div>				
まとめ	○赤おにの家に遊びに行った村人の気持ちを考えさせ、発表させる。	個別 一斉	○自分の考えを発表する。	○村人の気持ちに迫り、自分たちが持っていた赤おにへの偏見が間違っていたことに気付かせる。	
	○外見による偏見や差別が不当であり、相手のことを真に理解することの大切さを感じ理解させる。	一斉	○教師の話を書く。	○日常生活を振り返り、これからの生活に生かしていけるようにする。	

評 価

思いこみや決めつけ(偏見)が相手を傷付け、差別につながることに気付き、相手のことを本当に理解しようとする態度を身に付けさせることができたか。